

## 大崎市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問い合わせください。

情報の利用停止を希望された場合でも、治療に影響が出ることはありませんので、安心してお申し出ください。

研究課題名	課題名：DNA メチル化状態及び遺伝子発現状態に基づく大腸癌の抗 EGFR 抗体薬治療効果予測
当院の研究責任者	所 属：腫瘍内科 氏 名：坂本 康寛
他の研究機関および各施設の研究責任者	【研究統括本部】 東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野教授 石岡千加史 【共同研究機関】 仙台オープン病院 外科統括部長兼乳腺外科主任部長 本多 博 大崎市民病院 副院長 蒲生 真紀夫 石巻赤十字病院 腫瘍内科部長 大堀 久詔 茨城県立中央病院・茨城地域がんセンター 消化器内科部長 天貝 賢二
本研究の目的	本研究は、抗 EGFR 抗体薬による治療歴を有する独立した症例群において、①私たちが開発したメチル化状態による分類方法を用いることで、抗 EGFR 抗体薬の治療効果を予測可能であることを検証すること、及び②遺伝子発現状態が抗 EGFR 抗体薬の治療感受性と関連する遺伝子群を明らかにすることを目的としています。治療効果を予測する新規バイオマーカーの開発により、より精度高く抗 EGFR 抗体薬が無効である症例を抽出することが可能となり、抗 EGFR 抗体薬の投与によって副作用が生じるリスクや、投薬にかかる費用を回避することが可能となります。
調査データ 該当期間	西暦 2005 年 1 月～2016 年 3 月に当院もしくは共同研究機関で抗 EGFR 抗体薬の投与を受けた進行再発大腸癌の患者様が対象です。

<p>研究の方法 (使用する試料等)</p>	<p>過去に採取された原発巣のパラフィン包埋組織から核酸を抽出し保存します。抽出 DNA を使用して Infinium Methylation Assay による網羅的 DNA メチル化解析を行います。DNA メチル化情報に基づき、私たちが開発したメチル化状態に基づく分類法によって症例群を高メチル化群と低メチル化群の 2 群に分類し、抗 EGFR 抗体薬による治療成績 (奏効率、無増悪生存期間、全生存期間) を比較します。並行して、抽出 RNA を使用して、マイクロアレイによる網羅的遺伝子発現解析を行います。遺伝子発現情報を用いて、高メチル化群と低メチル化群の 2 群間で発現量に差のある遺伝子群を抽出することで、抗 EGFR 抗体薬の治療感受性と関連する遺伝子群を探索します。</p>
<p>使用する試料等</p>	<p>情報：病歴、治療歴、治療効果、副作用等の発生状況 等 試料：手術で切除された大腸癌原発巣及び転移巣の腫瘍組織</p>
<p>試料情報の他の研究機関への提供および提供方法</p>	<p>該当なし</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>匿名化する</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>ありません</p>
<p>お問い合わせ先 (照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先)</p>	<p>住所：大崎市古川穂波三丁目 8 番 1 号 電話： 0229-23-3311 研究責任者 大崎市民病院 腫瘍内科 坂本 康寛</p>
<p>備考</p>	